

氏名： 濱田 尚志（はまだ ひさし）

職名： 保育学科長、教授

主な担当科目：発達心理学Ⅰ、特別支援教育総論、保育・教職実践演習（幼稚園）

学位：修士（教育心理学）

最終学歴：九州大学大学院人間環境学研究院科博士後期課程心理臨床学コース満期退学

所属学会等：日本心理臨床学会、日本心理学会、日本保育学会、日本保育文化学会

【研究テーマ・主な研究業績】

1) 現職保育者研修・保育者養成・学生支援・大学教育

- ・濱田尚志・那須信樹・太田光洋・黒田秀樹（2012）園内研修・園外研修において特別支援教育はどのように取り上げられているのか. 香蘭女子短期大学研究紀要 54, 15-23.
- ・濱田尚志（2017）保育所保育士の実践力養成・研修モデル構築のための調査研究. 保育文化研究 5, 23-32.
- ・濱田尚志（2018）臨床心理士による保育所保育士の働き方に関する研修の実践. ポスター発表 日本心理臨床学会第 37 回大会 神戸国際会議場.
- ・濱田尚志（2020）外国につながる子どもと保護者への情報伝達についての演習. 香蘭女子短期大学研究紀要 62, 67-73.
- ・濱田尚志（2022）保育者実践力育成におけるアサーション・トレーニングの利用. 香蘭女子短期大学研究紀要 64, 1-8.
- ・濱田尚志（2024）保育者の「言いにくいこと」に関する研究－現職保育者と養成校学生を比較して－ 香蘭女子短期大学研究紀要 66, 44-52.

2) 臨床心理学・発達心理学・子育て支援

- ・金子周平・濱田尚志（2006）自閉症児の療育グループ「土曜学級」の意義と課題. 臨床心理地域援助研究セミナー 現代のエスプリ別冊 至文堂.
- ・豊崎他（2009）幼児と保護者に対する食生活に関する意識とその経年変化. 日本食育学会誌, 3(4), 317-323.
- ・濱田尚志（2013）乳幼児期から学童期への発達. 太田光洋（編）乳幼児期から学童期への発達と教育. 保育出版会, 12-27.
- ・濱田尚志（2016）相談支援の基礎 太田光洋（編）子育て支援の理論と実践. 保育出版会, 147-166.
- ・中山智哉・濱田尚志・末成妙子（編著）（2022）障がいのある子どもの保育・教育の実践 学文社.

【その他】

- ・福岡市私立保育士会区別研究（城南区）講師（2015～2016、2018～2022）
- ・北九州市社会福祉研修所 カウンセリング研修（保育）講師（2020～）
- ・福岡市私立幼稚園連盟 カウンセリング研修講師（2023）
- ・神戸市私立幼稚園連盟 主任研修講師（2023）

氏名： 橋本 浩（はしもと ひろし）

職名： 教授

主な担当科目： 保育文章表現技術、保育内容「言葉」、文学A、文学B、

学位：学士（文学）

最終学歴：北九州大学 文学部 国文学科

【主な研究テーマ】

- 教授法 アクティブ・ラーニングを中心に
- 中世文学探求 「徒然草」を中心に
- 乳幼児の言葉の発達

【主な研究業績】

- 「保育者養成校における児童文化教材の作成 ～領域「環境」領域「言葉」の授業連携を通じた実践の試み～」(香蘭女子短期大学研究紀要 2020 共著)
- 「保育内容「言葉」における学びの深化に向けた一考察 ～主体的・協働的で、能動的な学びを通して～」(香蘭女子短期大学研究紀要 2018)
- 「小学校における生徒指導組織の機能性を高めるプログラム開発」 (共同研究 福岡県教育センター 2013)
- 「鍛える教育」(共同研究 福岡県教育センター 2014)
- 「人権・同和教育の現状と課題」 (共同研究 福岡県公立高等学校長協会 2014 2016 2017)
- 「成熟化した社会での生徒指導の在り方」 (共同研究 福岡県公立高等学校長協会 2015)

氏名： 黒木 知美（くろき ともみ）

職名： 教授

主な担当科目： 音楽表現技術Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、保育内容Ⅴ(表現) 他

学位： 芸術学士

最終学歴： 武蔵野音楽大学 器楽学科ピアノ専攻卒業

所属学会等： 日本音楽教育学会、日本保育学会、全国大学音楽教育学会
九州公私立大学音楽学会

【主な研究テーマ】

- ・ 保育現場における表現活動とその指導援助方法について
- ・ 学生のピアノ演奏に対する学習意欲と指導について

【主な研究業績】

[研究発表・論文]

- ・ 峰松康世・黒木知美・森暢子（2008）「保育実習の振り返りに関する効果的授業の研究」
全国保育士養成協議会研究大会
- ・ 黒木知美・濱田尚志・森暢子（2016）「香蘭女子短期大学保育学科における”課外学習”の取り組み—考える力を育てる「学外研修」—」 全国保育士養成協議会研究大会
- ・ 黒木知美・濱田尚志・森暢子（2017）「香蘭女子短期大学保育学科における”教科外学習”の取り組み—考える力を育てる「学外研修」—」 香蘭女子短期大学研究紀要 pp.81—94
- ・ 黒木知美（2018）「ピアノの練習に関する取り組みの意欲を高める工夫」
香蘭女子短期大学研究 紀要 pp.93—101
- ・ 黒木知美（2020）「幼稚園教諭・保育士養成課程学生のピアノの伸びと指導の手立て」
香蘭女子短期大学研究紀要 pp.41—52
- ・ 黒木知美（2021）「子どもの表現活動を支援するための音楽授業の試み」
香蘭女子短期大学研究紀要 pp.67—76

[演奏]

- ・ ピアノソロ及びジョイントリサイタル(1996 年、1999 年、2000 年)
- ・ 2 台ピアノリサイタル(2002 年)・ヴァイオリンリサイタル伴奏 (2002 年)
- ・ チェロリサイタル伴奏(1999 年、2000 年、2001 年)
- ・ コントラバス伴奏(1997 年)・フルートリサイタル伴奏(1997 年)
- ・ 管弦楽コンサート(1994 年 1999 年)・ソプラノリサイタル伴奏(2000 年)
- ・ テノールリサイタル伴奏(1996 年、1997 年)・バリトンリサイタル伴奏(1996 年、1997 年 2003 年)

[その他]

- ・ ピアノコンクール審査員

氏名：溝田 めぐみ（みぞた めぐみ）

職名：教授

主な担当科目：教育原理、教育方法指導論、保育原理

学位：教育学修士

最終学歴：九州大学大学院人間環境学府博士課程満期退学

所属学会等：日本教育社会学会、日本子ども社会学会、日本保育学会

【主な研究テーマ】 子どもの人権を尊重した保育、母乳育児支援

【主な研究業績】

- ・望田研吾編（分担執筆）、2001、『21 世紀における青少年育成に関する研究 ―アンビ シヤスな青少年を育てるには―』福岡県。
- ・住田正樹・高島秀樹編（分担執筆）、2002、『子どもの発達と現代社会』北樹出版。
- ・住田正樹・溝田めぐみ、2000、「母親の育児不安と育児サークル」『九州大学大学院 教育学研究紀要』第 3 号（通巻 46 集）、23-44 頁。
- ・溝田めぐみ、2008「育児不安研究のレビュー」、『香蘭女子短期大学研究紀要』第 51 号、183-187 頁。
- ・溝田めぐみ、2012「短期大学卒業生のリカレント教育へのニーズ」、『短期大学コンソーシアム九州紀要「短期高等教育研究」』Vol.2.25-30 頁
- ・溝田めぐみ「キャリアリーフレット作成におけるアクティブラーニングの実践報告」、『香蘭女子短期大学研究紀要』、第 58 号、119-127 頁。
- ・溝田めぐみ「保育者の離職とワーク・ライフ・バランス意識との関連について - 短期大学保育学科の学生に対する質問し調査から - 」、『香蘭女子短期大学研究紀要』、第 59 号、95-105 頁。
- ・溝田めぐみ、2018「保育者養成校における指導案作成の教授法」、『香蘭女子短期大学 研究紀要』第 60 号、93-101 頁。
- ・「保育所における母乳育児支援の現状と課題」2019 年日本保育学会第 72 回大会（大妻女子大学）
- ・溝田めぐみ、2020「保育所における母乳育児支援への必要性和課題」『香蘭女子短期大学研究紀要』、第 63 号、109-115 頁。
- ・竹石聖子・内山絵美子編著、2020『生活事例からはじめる教育原理』のうち「第 7 章 乳幼児期における教育実践の基礎」を担当、79-90 頁。
- ・溝田めぐみ、2023「保育における子どもの人権研究」『香蘭女子短期大学研究紀要』、第 65 号 79-86 項。
- ・溝田めぐみ、2024「不適切な保育の報道と情報が保育学生に及ぼす影響について」『香蘭女子短期大学研究紀要』、第 66 号 102-109 項。

氏名： 中村洋子 職名： 准教授 主な担当科目： 幼児体育

I、幼児体育Ⅱ、保育内容Ⅰ健康 学位：体育学士 最終学歴：

日本体育大学 所属学会等： ・日本幼児体育学会 ・日本幼少
児健康教育学会

【主な研究テーマ】

- ・知的障害児（幼児）への運動プログラム開発及び指導について
- ・産後・育児期における母親や家庭への教育支援
- ・共創スポーツ
- ・インクルーシブ、インクルーシブ公園

【主な研究業績】

- ・健康と体力づくりハンドブック 1995（共著）P122～P136、 P185～P188 健康科学
1998（共著）「社会的ストレスと健康」P17～P20、「女性の健康管理」P21～ P34、「ウォーキングエクササイズ」P40～P45、「運動不足と健康」P289～P290、「運動不足に起因する疾病」P291～P296
- ・みんなの健康科学2 1992 P66～P67
- ・エンカウンターで学級が変わる ショートエクササイズ集 1999 P72 ～P73、P76～P77
- ・エンカウンターで学級が変わる ショートエクササイズ集 Part2 2001 P60 ～P61、P68～P69
- ・保育内容「健康」高橋弥生 臼井達矢編著 共著（青鞥社）第13章 特別な配慮を要する子どもとは（p177 ～ p190）
- ・日本幼少児健康教育学会 運動・健康教育研究 Vol.13 にて「乳幼児ならびに児童・生徒健康調査結果（生活・身体状況）報告資料作成（2001年秋季・2002年秋季・冬季 2003年春季実態）」
- ・日本幼少児健康教育学会第20回大会にて「幼児の起床時刻別にみた生活状況と健康管理について」
- ・香蘭女子短期大学研究紀要第62号「保育学科の学生を対象とした一次救命処置演習の検討」
- ・香蘭女子短期大学研究紀要第63号「コロナ禍における親子の運動あそびについての一考察」
- ・日本幼少児健康教育学会第40回記念大会「地域スポーツのあり方を考える～共創スポーツを通して～」

「幼児の運動遊び」「親子あそび」「幼児向けリズム運動」「ダンス指導」を各自治体・学校・幼・保育園にて指導。産後・育児期の母親向けの「心と体のケア講座」、妊娠期の母親へのサポート講座、障がいのある子どもの育児をする母親向けのサポート講座など依頼講師として指導。知的障がい児の幼児期における運動の必要性やその効果について「スペシャルオリンピックス日本ヤングアスリートプログラム」認定コーチとして活動している。地域スポーツを推進する方法として共創スポーツを取り入れ各地で企画・実施。インクルーシブ教育の視点から公園での運動あそびを研究。

氏名： 杉森 映徳 (すぎもり えいとく)

職名： 准教授

主な担当科目：

子どもと造形表現Ⅰ・Ⅱ、保育内容Ⅴ（表現）、造形表現研究、保育実践演習Ⅰ・Ⅱ
芸術論、色彩学

学位：

教育学修士、芸術学修士

学歴：

- ・福岡教育大学 大学院 教育学研究科 美術教育専修 修了（教育学修士）
- ・サンフランシスコ州立大学 芸術学部 金工科 滞在研究員
- ・九州産業大学 大学院 博士後期課程 芸術学研究科 造形表現専攻 満期退学（芸術学修士）

所属学会等：

- ・全国大学美術教育学会 会員
- ・日本美術家連盟 彫刻部 会員
- ・現代工芸美術家協会 会員
- ・福岡県美術協会 洋画部門 会員
- ・ABANA (The Artist-Blacksmith's Association of North America) 会員
- ・American Craft Council, N.Y. 会員
- ・Metal Arts Guild, San Francisco 会員
- ・Society of North America Goldsmiths 会員

【主な研究テーマ】

- ・ミクストメディアによる絵画技法研究（油彩、アクリル、金箔等による混合技法）
- ・インスタレーションによる空間造形研究（金属、木材、石材等による空間表現）
- ・古代鑄金技法研究（自然送風式熔解炉による銅合金熔解実験）
- ・真土型鑄造技法研究（日本伝統の焼成土を素材とした焼型鑄造技法）
- ・西洋鑄造技法研究（石膏鑄型による蠟型鑄造技法）
- ・金属着色技法研究（日本独自に発展した合金とその着色技術）

【主な研究業績】

著書

- ・Japanese Patinas 日本着色法 単著 Brynmorgen Press
- ・The Metalsmithing Patination 単著 A-forest Promotions

論文

- ・古代の鑄金技法を探究 I 「～自然送風による青銅の熔解実験を通して～」
- ・古代の鑄金技法を探究 II 「～古代埴塼の研究～」
- ・Research of Western-style plaster mold casting 「Verification of lost-wax casting of rotated mold making process」 香蘭女子短期大学 研究紀要 第 59 号
- ・Research of Traditional Japanese Patina for Frubi technique “Aesthetics of Antique look” 香蘭女子短期大学 研究紀要 第 60 号
- ・保育者養成に於ける美術教育の在り方－制作工程を楽しむ表現技法の研究－ 香蘭女子短期大学 研究紀要 第 60 号
- ・Research of mixed casting technique of Japanese traditional Mane-gata casting and Western plaster mold casting 蘭女子短期大学 研究紀要 第 61 号
- ・子どもの絵画指導と幼児美術教育の将来性 蘭女子短期大学 研究紀要 第 62 号
- ・保育者養成に於ける次世代の美術授業について 蘭女子短期大学 研究紀要 第 63 号
- ・グローバル社会に於ける未来の装飾品（アクセサリ）の展望 蘭女子短期大学 研究紀要 第 64 号
- ・保育者養成校における美術授業の実践的学習内容について 蘭女子短期大学 研究紀要 第 65 号
- ・幼児美術教育に於ける観察・鑑賞活動の重要性 蘭女子短期大学 研究紀要 第 65 号

学会発表

- ・1999年 第38回 大学美術教育学会 愛媛大会
- ・2000年 第39回 大学美術教育学会 静岡大会

作品出展

- ・伝統工芸日本金工展（鑄金）2006年～2010年 毎年出展
- ・現代工芸美術展（金属）2011年～現在 毎年出展
- ・福岡県美術展覧会 協会員の部（洋画）2013年～現在 毎年出展
- ・2013年 第22回 英展 招待出展（絵画）
- ・2023年 第76回二紀展出展
- ・2023年 第90回記念独立展出展

個展・グループ展

福岡、東京、京都、釜山、カトマンズ、ニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス、ベルリン、パリ、ロンドン、バルセロナなど多数

アートプロジェクト企画

- ・International Art Exhibition （2004年～現在、ニューヨーク、パリ、ベルリン、ロンドン、バルセロナ、東京、京都など世界主要都市においてグループ展を企画、出展）
- ・親子参加型子育て支援ライブペインティングを定期的に行う

審査員

- ・2007年 ATOA(Artist Talk on Art) Competition （ニューヨーク）

氏名：姫島 源太郎

職名：准教授

主な担当科目：子ども家庭支援の心理学、子どもの理解と援助、幼児理解と教育相談

学位：修士（心理学）

最終学歴：九州大学大学院人間環境学府人間共生システム専攻 臨床心理学指導・研究コース 博士後期課程満期退学

所属学会等：日本心理臨床学会、日本教育心理学会、日本コミュニティ心理学会、九州臨床心理学会、日本保育学会

【主な研究テーマ】

大規模自然災害時の心理支援、乳幼児の心的外傷、双極性障害への心理支援

【主な研究業績】

- ・ 姫島源太郎・田嶋誠一(2010)公立中学校における『夜間校内適応指導教室』田嶋誠一(編著)『不登校—ネットワークを生かした多面的援助の実例』. 金剛出版, pp231-239.
- ・ 姫島源太郎・田嶋誠一(2010)大学の研究室を活用した居場所活動 田嶋誠一(編著)『不登校—ネットワークを生かした多面的援助の実例』. 金剛出版, pp266-272.
- ・ 姫島源太郎(2013)気分の波とつきあうことを目指した、双極性障害の女性との心理面接 日本心理臨床学会第 32 回大会
- ・ 姫島源太郎(2016)緊急派遣スクールカウンセラーによる被災地支援. 教育と医学 64(12), 68-77.
- ・ 姫島源太郎(2017)経験の浅い保育者は自らの力量と課題、解決策をどう認知しているか—心理学的視点から保護者対応スキル構築モデルを考える—. 保育文化研究 (5), 55-67.
- ・ 姫島源太郎・芝原祥三(2018)平成 28 年熊本地震における九州地区臨床心理士の連携—インターネットグループウェアを活用した支援者連携—. ストレスマネジメント研究 14(1), 18-23.
- ・ 姫島源太郎(2018)幼児期の心理的危機に対する理解と支援の概観—自然災害時の支援を中心とした検討—. 香蘭女子短期大学研究紀要 61, 113-128.
- ・ 姫島源太郎・寺地亜衣子(2020)災害後の子どもに生じる変化についての認識(1)(2) 日本保育学会第 73 回大会
- ・ 姫島源太郎(2020)新型コロナウイルス感染症流行下の保育における困難についての保育学生の認知. 香蘭女子短期大学研究紀要 63, 23-30.
- ・ 姫島源太郎(2022)子どもの心の健康に関わる問題. 中山智哉・加藤孝士(編)『子ども家庭支援の心理学』. 学文社, pp166-187.
- ・ 姫島源太郎・寺地亜衣子(2022)外傷体験を受けた乳幼児への心理支援に対する保護者及び保育者の認識. 香蘭女子短期大学研究紀要 61, 53-62.

氏名：梅田 美穂

職名：講師

主な担当科目： 保育内容「人間関係」、教育課程総論、保育実習

最終学歴：西南学院大学大学院人間科学研究科博士前期課程修了

学位：修士（人間科学）

所属学会等：

- ・日本保育学会
- ・乳幼児教育・保育者養成学会
- ・日本企業経営学会

【主な研究テーマ】

母子生活支援施設、DV、子育て支援、

【主な研究業績】

- ・三訂 演習・児童養護の内容（共著）（2010 年.株式会社みらい）第 1 部第 4 章「児童福祉施設機関の現状と課題について」第 2 部「実践理解編」において実践事例
- ・演習 児童の社会的養護内容（共著）（2011.株式会社みらい）
- ・保育士養成課程 四訂 福祉施設実習ハンドブック（共著）（2011 年.株式会社みらい）Sheet23 を担当
- ・社会福祉実習 ソーシャルワーク実践事例を通じた学び（共著）（2015 年.株式会社みらい）第 2 章「支援の現場から—社会福祉援助実践現場の魅力と可能性」の一部を担当
- ・「みらい×子ども福祉ブックス 社会福祉」（共著）（2020 年.株式会社みらい）コラム⑫「社会福祉の動向と課題」を担当
- ・母子生活支援施設の退所世帯における退所理由の検討（2018）山口短期大学研究紀要第 38 号 P9-14
- ・母子生活支援施設退所者の支援満足度に関する一考察（2019）企業経営研究第 22 号日 P109-123 日本企業経営学会（日本企業経営学会学術研究団体）
- ・実習の質的向上を目指した取り組みⅣ—保育実践の反省・考察の分析を通して—（2019）山口短期大学研究紀要第 39 号 P1-6
- ・家庭の日親子ふれあいイベントにおける現状と課題—2019 年度活動を振り返って—（2020）山口短期大学研究紀要第 40 号 P1-6
- ・昼食場面における子どもの人間関係と保育者の援助の関係（2021）香蘭女子短期大学研究紀要第 64 号 P9-18

○その他

山口県防府市出前講座 華浦公民館（2020）「家庭で楽しむ絵本の世界」

氏名：寺地 亜衣子

職名：准教授

主な担当科目：教育実習、保育者論、保育・教職実践演習、子どもと環境

学位：修士（人間科学）

最終学歴：西南学院大学大学院人間科学研究科人間科学専攻博士後期課程（中途退学）

所属学会等：日本保育学会、日本保育者養成教育学会、日本乳幼児教育・保育者養成学会

主な研究テーマ：乳幼児教育・保育 保育環境 災害時の保育・予防教育

主な研究業績

（学会発表）

- ・姫島源太郎、寺地亜衣子（2020）「災害後の子どもに生じる変化についての認識(1)-保育者を対象とした調査-」日本保育学会第73回大会
- ・寺地亜衣子、姫島源太郎（2020）「災害後の子どもに生じる変化についての認識(2)-保護者を対象とした調査-」日本保育学会第73回大会
- ・寺地亜衣子（2021）「保育内容「環境」「言葉」の授業連携における一考察-児童文化教材の作成を通して-」第5回日本保育者養成教育学会研究大会
- ・寺地亜衣子（2021）「災害後の子どもに生じる変化についての認識(3)-保護者・保育者の語りの分析-」日本保育学会第74回大会
- ・寺地亜衣子（2021）「コロナ禍における遠隔授業実践-学生と教員、学生同士の関わりを意識して-」日本乳幼児教育・保育者養成学会第2回研究大会
- ・寺地亜衣子・那須信樹（2023）「幼稚園教育実習指導における学生の経験と学びの現状」第7回日本保育者養成教育学会研究大会
- ・寺地亜衣子・那須信樹（2024）「幼稚園における教育実習指導内容と実習記録についての現状」第8回日本保育者養成教育学会研究大会

（論文・報告書）

- ・寺地亜衣子（2020）「保育者養成校に在籍する学生の保育職への志望動機と目指す保育者像 - 入学時と2年次の調査から - 」香蘭女子短期大学研究紀要第62号(p.83-94)
- ・寺地亜衣子・橋本浩（2021）「保育者養成校における児童文化教材の作成-領域「環境」領域「言葉」の授業連携を通じた実践の試み」香蘭女子短期大学研究紀要第63号(p.31-40)
- ・寺地亜衣子（2022）「附属幼稚園実習における学生の学び-子どもと環境に着目して-」香蘭女子短期大学紀要第64号（p.29-40）
- ・姫島源太郎・寺地亜衣子（2023）「外傷体験を受けた乳幼児への心理支援に対する保護者及び保育者の認識」香蘭女子短期大学紀要第65号(p53-62)
- ・寺地亜衣子（2024）「教育実習事前事後指導における教材研究に関する取り組み」香蘭女子短期大学紀要第66号(p92-101)

（著書）

- ・「新基本保育シリーズ13 教育・保育カリキュラム論」（共著）（2019. 中央法規出版）千葉武夫・那須信樹編集 第7講「幼稚園の指導計画の作成」（p.75-88）

（その他）

- ・厚生労働省「保育所における自己評価ガイドライン【改訂版】」（試案）の試行検証に関する調査研究チーム構成員
- ・福岡市私立幼稚園連盟教育課程研究委員会講師（2020～）
- ・石川県保育中堅職員研修講師（2022～）
- ・東京都保育士等キャリアアップ研修講師（2023～）

★氏名：山田 裕美子

★職名：講師

★主な担当科目：保育内容総論 子どもと言葉 保育教材演習ⅠⅡ 保育・教職実践演習

※学位：修士（人間発達学）

※最終学歴：中村学園大学大学院人間発達学研究科 人間発達学専攻

※所属学会等：絵本学会 日本保育学会 日本保育者養成教育学会

★【主な研究テーマ】

保育学 幼児教育 児童文化

★【主な研究業績】

（論文）

- ・山田裕美子、古相正美（2016）「保育における人形の活用―その歴史―」中村学園大学・短期大学部 研究紀要 第48号（p.225-229）
- ・山田裕美子、古相正美（2017）「保育における人形・人形劇の活用―幼稚園での実践をもとに―」中村学園大学・短期大学部 研究紀要 第49号（p.41-55）
- ・山田裕美子（2017）「保育者養成校における学生の絵本に対する意識について―幼児期の読み聞かせ体験の記憶と現在の意識との関連を中心に―」福岡こども短期大学 研究紀要 第28号（p.11-17）
- ・山田裕美子、圓入智仁、古相正美（2019）「人形劇に関する認識の変容―教育実習における児童文化財活用の取り組み―」中村学園大学発達支援センター 研究紀要 第10号（p.117-121）
- ・圓入智仁、山田裕美子（2020）「幼稚園教育要領・保育所保育指針などにおける危機管理教育の位置付け―危機管理・安全管理マニュアルの作成を含めて―」中村学園大学・短期大学部 教職教育センター 教職教育研究 第4号（p.56-61）
- ・山田裕美子（2022）「年長児の絵本選択―幼稚園での図書貸出における選択理由の分析―」香蘭女子短期大学 研究紀要 第65号（p.17-25）

（学会発表）

- ・山田裕美子、古相正美（2017）「保育における人形劇の可能性」日本保育学会第70回大会ポスター発表

（芸術活動・その他）

- ・アクロス福岡円形ホール SEGUEの音楽物語（1999-2015）賛助出演
- ・壱支国博物館 子どもの日イベント（2010-2019.2023.2024）出演
- ・糸島市立桜野公民館 人形劇子ども講座（2012-2015）講師
- ・桜野コミュニティーセンター 桜野おはなし会（2022.2023）出演